目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	現在の職員で理念について意見を出し合って、自分たちが作り上げた新たな理念のもとで支援に取り組むことを検討してはいかがか。	職員へ今と違う理念の検討について考えがあるのか尋ねたりして意見を集めていく。	職員一人一人の考えを確認して会議以外でも、雑談を交えながらリラックスした状況で進めていき、忌憚のない内容で進めていきたいと思えます。	6ヶ月
2	6 (5)	玄関の施錠及びセンサーマットの活用については、常態化しないケアの工夫を改めて話し合っほしい。	利用者の自由と安全を阻害しないように取り組んでいきたいです。	便利用品などネット検索や職員の経験をもとに、かえでにとってより良い工夫をしていく必要がある。	6ヶ月
3	35 (13)	災害時に利用者の特徴をつかみ、安全に避難できるように自主訓練を増やして避難技術を身に付けてほしい。	月一で避難訓練を行い利用者様たちが自然と向かうべく方向へ誘導できるように取り組む	レクリエーションの延長の形で進めていきたい、遊びの延長で行えればと思います。	6ヶ月
4	36 (14)	異性介助時等では、都度声をかけたり、本人が選択できる場面を提供してはいかがか。	その都度ご本人にお声掛けをしてから実施させていただけるように取り組む	利用者様一人一人の意思をくみ取りいやな思いをしないようにお声掛けをする。	6ヶ月
5	49 (18)	外気に触れる機会を増やすことで気分転換や発散にもつながるため、外で過ごす時間や個別での外出の機会を増やしてはいかがか。	玄関先や庭など遠くなくてもいいので回数を本人確認をして気分転換を図りたいです。	庭や玄関に花など何か目的をおいて外の空気を吸うえるきっかけを作る	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。